

## 小児心臓外科・小児循環器内科に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

### 対象となる方

2001年1月～2015年9月の間に、ファロー四徴症で入院し、手術を受けた方

### 研究課題名

外科医の卒後経験年数がファロー四徴症修復術の手術成績に及ぼす影響

### 研究責任者

国立循環器病研究センター 小児心臓外科 部長 市川 肇

### 研究の目的

ファロー四徴症修復術を安全に行うための適切な手術環境・体制を検討すること

### 利用する診療情報

手術時年齢・体重、肺動脈閉鎖・肺動脈分枝狭窄・中心肺動脈非連続・染色体異常・先行手術の有無。術前カテーテル検査における左室駆出率、左室拡張末期容積、左室拡張末期圧、肺動脈弁輪径、肺動脈指数、肺体血流比。体外循環時間、大動脈遮断時間。また手術時点での術者の卒後年数、第一助手の卒後年数、総卒後年数等。ファロー四徴症修復術症例の Technical Performance Score (TPS)を退院前の心エコー検査でスコアリングする。

### 研究期間

2018年7月1日より2019年12月31日まで（予定）

### 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

**問合せ先**

国立循環器病研究センター 小児心臓外科 担当医師 島田 勝利  
電話 06-6170-1070(代表) (内線 60333)